



みんなのできる 地球温暖化防止活動

—スポーツ鬼ごっこを通して推進員活動をしています!!—

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

■スポーツ鬼ごっこ

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

理学療法士や介護支援専門員の資格を持つ廣田智さんは、須賀川市在住の福島県地球温暖化防止活動推進員です。スポーツ鬼ごっことは、1チーム7人編成で試合時間は5〜7分です。ルールを守りながら、時間内に宝を多く獲得したチームが勝ちになります。「須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会の会長を務めています。スポーツ鬼ごっこの部門と、レクリエーションの部門があります。公園施設の美化活動や障害者も一緒に運動できるイベントなどを開催しています。」

■推進員になったきっかけ

「普段から趣味としてランニングをしています。その際に、落ちているごみが多いことに気づきました。ごみ拾いしながらランニングをしています。」ランニングでごみ拾いの活動を通し、地球の環境問題にも興味があわくようになりました。そのことをネット交流サービス(SNS)に投稿したら、福島県地球温暖化

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

防止活動推進員養成研修会があることを知人が教えてくれたそうです。2022年に推進員になりました。「ランニングをしていると、ここ数年は熱中症の危険性を強く感じます。」

■学びの場「翠ヶ丘公園」

廣田さんは、大好きな翠ヶ丘公園で青少年の育成活動をしています。「スポーツ鬼ごっこで、青少年の運動機会を増やしたり、肥満の改善や基礎体力の向上に努めています。」

しかし、スポーツを通じてできることはもっとあるといえます。「公園でアウトドアイベントを開催し、地球温暖化や気候変動のクイズをしたり、森を健全に保つことが自然環境には大切であることなど、子どもと保護者のみなさんと、一緒に学んでいます。」

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「私が小学生だった頃と比べると、明らかに冬の降雪量は減少しています。」市街地から少し離れた田園風景を眺めながら、毎日の生活の中で、水を大切に使うこと、ごみをできる限り出さないこと、自然と触れ合う機会を多くつくることに努めているそうです。「今年、福島県センターのオンライン講座が充実していました。これからも受講し推進員としての知識を増やしていきたいです。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>